

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス 手と手の広場		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年1月14日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	みんなが手話で伝わり合う環境の中で、異年齢の違う子どもたちが学び遊ぶことができる場を提供している。	音声中心の子どもも手話中心の子どもも、みんなが手話や指文字を使い、お互いコミュニケーションがとれる環境を作っている。	指導員の聴覚障害児に対する理解、支援の仕方など専門性や手話力の向上を図っていく。
2	発音・発語指導、国語力の育成、コミュニケーション能力の向上、社会参加への支援等における専門性を有している。	児童が楽しく発音・発語指導ができるように計画している。	苦手な児童も参加で出来るように環境を整える。
3	子どもや保護者との意思の疎通や連携が日常的に取れている。	その日の子どもの様子や気付きを、担当した指導員は直接、保護者と話をするようにしている。また、直接話せない場合や行事、緊急時にはLINEで伝えるなど連携を密にしている。	より密な連携を継続する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急対応時のマニュアルや避難訓練の実施など、全保護者、全利用者に周知、説明することに時間を有する。	児童ごとに来所曜日がまちまちなので、全員が避難訓練を経験することがなかなかできにくい。	来所人数が多い日を確認して、複数回避難訓練を計画していく。保護者に避難訓練の実施日や実施後の内容、様子等を丁寧に伝えていく。
2	課題と遊ぶスペースが混在しているので、子どもの活動が限られている。	建物が古くスペースが100㎡以下で、柱が中心にあり、また職員の机等もあるため狭いと感じている。	活動によって机、椅子を移動して活動のスペースを確保している。また、近くの公園等でのびのび活動できるように計画する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後デイサービス 手と手の広場
------	------------------

公表日 2025年2月14日

利用児童数 16

回収数 14

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2		1	もう少し広さがあると良いかなと思いません。	机の配置や移動で活動にあったスペースを確保している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		1	先生同士が口話で話すなら子どもつい口話で話す姿が見られるのでどちらもいえない。 適切なかわかりませんが、ちょうど良いかなと思います。	いつも手話を使う環境を整え手話力の向上を図る。
	3 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				1	
適切 な 支 援 の 提 供	4 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	1			2と同じくつい口話という姿はどうかなと思う。 娘も分からない先生もいると言ってますがその場では言えない。 学校での支援が不足しているので助かっています。	いつも手話を使う環境を整え手話力の向上を図る。
	5 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	6 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	7 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
保 護 者 へ の 説 明 等	8 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	9 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1				
	10 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1			それぞれの工夫があって助かります。ただ口話だけでいつも話す子供もいると伝わっているか心配。 成長に合わせて、手話も変わるので大変かなと思うがメインは子どもなので手話を大切にしてほしい。	難聴児の中には、常時手話を使う環境ではない場面があり、どうしても口話になる子もいる。広場でのコミュニケーションは基本的に手話なので指導員も含め、手話で話す環境を整える。
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2				
	12 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	3			HPはありますか。SNSにももう少し活動状況が見られたらいいと思う	広島聴覚障害者福祉会のHPに載せている。子どもたちの画像や写真は慎重に取り扱っており、保護者に見せて必要であれば画像等を配信している。
	13 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	2		1	守秘義務を厳守してください。	引き続き個人情報の取扱いには注意していく。
非 常 時 等 の 対 応	14 事業所では、緊急時対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			4	部屋に見える化として貼るのはどうでしょう。（絵など） 意識を高めるのも大事かなと思う。	「災害時の行動」（緊急時）として、避難手順、場所を表にして、子どもたちの見える場所に掲示している。
	15 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			6	見たことがないので分からない。	毎年防災の日を意識して避難訓練を実施している。実施日や内容、実施後の様子等を保護者に丁寧に伝えていく。
	16 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		1	度合いによるのかな。	事故、怪我等かわからず、その日に起きた出来事は、送迎時やLEINで保護者に状況を伝えている。
満 足 度	17 子どもは安心感をもって通所していますか。	14					
	18 子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1				
	19 事業所の支援に満足していますか。	14				これからよろしくお願ひします。	子どもたちが楽しく通所してくれるのが一番だと考えている。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービス 手と手の広場		公表日 2025年2月14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が個別指導支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	2	机を必要に応じて移動させたりしている。	課題スペースと支援スペースを区別した方がもっと集中できる環境になるのではないかとと思う。 課題と遊びのスペースの境界がない点が良い点もあるが、集中しにくかったりのびのびと過ごせなかったりする時もある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11		担当外の子供に対しても各指導員が目配つていていると思う。 指導員が一人が利用者1〜2人に対応することができている。 出勤人数を確認してシフトを考えている。	
	3	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	毎朝、清掃を行っている。	古い本等を整理し、より片付けやすいようにスペースが作れると良いのではないかと。
業務改善	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		アンケートをとっている。	
	5	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	気づいたときに意見を出し合っている。 いつでも相談できる環境ができています。	非常勤の指導員にも情報共有（子どものもの）がもっとできたら良いと思う。
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		興味のある研修に参加し、技術の向上に努めている。 受けたい研修は受けに行ったり、法人内で研修を行っている。 研修を受講する機会を設けて頂いている。	子どもの権利や性的な言動への対応等についての研修があると良い。
適切な支援の提供	7	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	10			
	8	個別支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		指導員同士で相談しながら支援計画を立てている。	個別支援計画がどこに保管されているかわかりにくい。 計画の内容を共有できるようにファイルに綴じたものを閲覧できるようにし、保管場所に確実に戻すような工夫ができると良い。
	9	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	職員間で日々情報交換をし、支援について話している。	
	10	個別支援計画計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	11	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	12	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容及び役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		前日の児童の様子などを伝え合っており、支援について話し合っている。	
	13	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		毎日記録を取って残している。 全員が記録を取って、月々の子どもの成長に繋がっていると思う。 利用者の支援について情報交換したり相談することができている。	
	14	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	11		課題を始める時間やおやつなど自分の考えや意見をだせるようにしている。	
関係者との連携	15	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		下校時の迎えの時にその日の情報などを共有している。	
	16	自立支援協議会地域部会へ参加しているか	10		中区こども部会に参加している。 事業所で参加している。	
	17	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	11		送迎時に本日の状況を伝え、保護者からの要望を確認している。 退所時にその日の様子を伝えている。	
保護者への説明等	18	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		LINを使って行事についてなどの連絡をしている。	
	19	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	1	写真などの情報を使用しているか保護者に許可を取っている。	記録簿が机の上にあり子供も手に取ることができると少し不安がある。
	20	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		聴覚障害のある子供や保護者と手話でコミュニケーションをとっている。	
非常時等の対応	21	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		防災に関する話を子どもたちにして避難場所の確認をしている。 防災の日には、防災についての学習をしたり地震等が発生した動きも訓練の実施をしている。	非常勤職員も共有できるようマニュアルや計画書を回覧できると良い。
	22	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	23	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		1年に1回以上研修がある。	
	24	感染症集団発生防止のために、手洗い、マスク着用、アルコール消毒、換気、加湿、体調管理対策、また陽性者判明時に適切な対応をしているか。	11		毎朝机と椅子をアルコール消毒をしている。 空気清浄機が設置されているのが良い。	流行期の手洗い等子どもの意識向上を図れると良い。